

『平塚市史7』 資料編 近代(3)

資料編 近代は、全3巻からなり項目別に編年でまとめています。

近代(3)では、第1次世界大戦後の経済不況から、関東大震災、昭和恐慌、市制施行、太平洋戦争など、大正8年(1919年)から昭和20年(1945年)までの資料380点を収録しました。



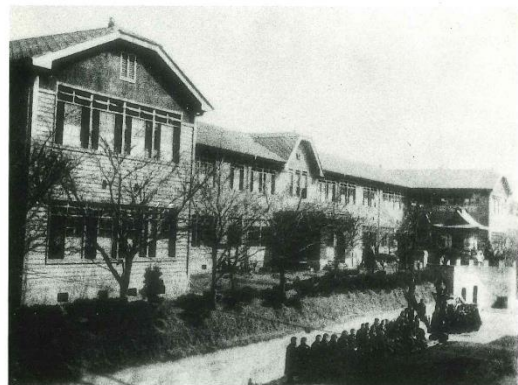
関東大震災 馬入川鉄橋の惨状



神奈川県立平塚高等女学校本館及び講堂



湘南遊歩道開通式(昭和11年10月)



平塚市立平塚特設高等学校(独立校舎)

—掲載内容—

- 1 第一次世界大戦と社会情勢の変化……………大戦と講和
地方行政の推移
経済不況と農村事情
学校教育と社会教育の動向
- 2 関東大震災と経済財政事情……………震災の実態と警察日誌
罹災者救済と治安維持
災害復旧の実情
震災後の経済と町村財政

- 3 昭和恐慌下の町村の景況……………町村行政と公私経済緊縮運動
商工業の拡大と地域の変貌
農村不況と小作争議
学校教育拡充と中郡盲学校
- 4 市制施行……………市制への胎動
施行準備と平塚市誕生
教育の充実
- 5 工業化と戦時教育への道……………海軍火薬廠
工業の進展と労働争議
実業教育の振興と軍事教練
- 6 十五年戦争と町村統制の組織化……………経済更生運動下の農村
出兵兵士と軍人援護・民衆動員
常会組織と町村行政
経済統制下の農工業生産
- 7 戦時下の社会生活と軍需工業……………大野町町制施行と翼賛体制
食糧難・供出の強化と軍需生産
動員体制下の教育と疎開児童